

# 学生チャレンジプロジェクト SDGs 活動報告



プロジェクト名：

ET ロボコン 2025 参戦プロジェクト

プロジェクトのターゲット目標（17項目）を  
○で囲んでください。

No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6
No. 7	No. 8	○No. 9	No. 10	No. 11	No. 12
No. 13	No. 14	No. 15	No. 16	No. 17	

## 【活動報告】

本プロジェクトでは、ソフトウェアモデリング+ロボット制御コンペティションである ET ロボコン 2025 への参戦を目的として活動しました。

2025 年 10 月 4 日に開催された ET ロボコン 2025 東海地区大会に出場し、プライマリクラスで 18 チーム中、競技 1 位、モデル審査 B-、総合順位 4 位という結果を残し、チャンピオンシップ大会(2025 年 11 月 20 日開催)の出場権を獲得しました。また、特別賞として IPA 賞を受賞しました。

本プロジェクトでは SDGs の「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」で目指している、包括的で持続可能な産業化を推進することへ役立つことを目標として活動を行いました。

具体的な例としては、「9.1 災害などに強いインフラの開発」では障害に対応できるソフトウェアの設計を目指し、ソフトウェアモデリングにより実機にて確実なロボット制御を行い、課題をクリアできるような工夫を取り入れて、環境や外乱などの影響を受けにくい設計に挑戦しました。

「9.2 持続可能な産業化」では社会インフラの中でのソフトウェアの重要度が上がる中、開発者が交代しても、そのソフトウェアを継続的にメンテナンス可能な状態が維持できる機能設計に挑戦しました。

「9.4 クリーン技術及び環境に配慮した改良や産業改善」では省電力で効率の良いロボット制御に挑戦しました。

「9.5 イノベーションの促進」では実機で効率よく色識別してクリアすることを目指しました。

今年度は特に、「9.4 クリーン技術及び環境に配慮した改良や産業改善」に重点を置いて活動しました。課題をクリアするために、ソフトウェア設計図にあたるモデル設計に力を入れて、省電力で効率の良いロボット制御の設計を目指しました。チャンピオンシップ大会では惜しくも上位入賞を逃してしまいましたが、これまでの活動で得た経験を活かして、引き続きより高度なソフトウェア開発を目指していきます。



## プロジェクト紹介

情報科学科の学生を中心にロボット制御を題材にして、将来ソフトウェア開発のプロフェッショナルとなることを目標に活動しています。